

■訪問介護 1,896 事業所の 45.5%が赤字 23 年度 福祉医療機構

- ・全国にある 1,896 カ所の訪問介護事業所の 45.5%が 2023 年度の決算で経常収支が赤字だったとする経営分析参考指標の概要を福祉医療機構が公表した。赤字の事業所の割合は前年度（1,901 カ所）よりも 2.7 ポイント上昇した。
- ・経営分析参考指標の概要によると、23 年度の訪問介護事業所（1,896 カ所）の 1 カ月当たりの利用実人員数（決算月）は、要介護者が 45.0 人、要支援者は 18.6 人で、前年度と比べ 0.7 人、0.3 人それぞれ減った。
- ・また、事業全体の収益性を判断する指標とされる訪問 1 回当たりのサービス活動収益は 4,161 円と前年度よりも 38 円減少した。人件費率は 74.4%と前年度から 0.1 ポイント上昇したが、給食費や水道光熱費、業務委託費などの経費率は 16.4%と 0.4 ポイント低下した。本業のサービス活動収益から得られた増減差額を示す「サービス活動収益対サービス活動増減差額比率」は、0.1 ポイント増の 5.9%。
- ・福祉医療機構では、融資先から提出された財務諸表などを基に社会福祉法人や医療法人、福祉・医療施設などの経営状況について経営分析参考指標として年度ごとに集計・分析している。23 年度決算の訪問介護の経営分析参考指標の概況を 24 日に公表した。

※詳細は下記資料をご参照ください。

○WAM 2023 年度決算 訪問介護の経営分析参考指標の概要について

<https://www.wam.go.jp/hp/wp-content/uploads/pr2439.pdf>

○WAM 経営サポート事業 経営分析参考指標

<https://www.wam.go.jp/hp/keiei-index/>